

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また取扱説明書は大切に保管してください。

nommoc

ノモック プラス Wオープンハイタイプベビーベッド
ノモック プラス Wオープンハイタイプミニベビーベッド



動画を見ながらカンタン組み立て
<https://youtu.be/7kjWdNTu6ok>

動画は右記の QR コード
からアクセスできます。



 組立ボルトは定期的な締め直しが必要です。

安全にご使用いただくために必ずお守りください

この取扱説明書では、危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」「注意」を以下の定義で用います。



警告…人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

- ベビーベッドとしての対象月齢は、24 ヶ月以内の乳幼児です。
- 床板を最下段に下げてもなお、お子さまがよじ登ったりする場合は、24 か月以内であっても使用を中止してください。
- ベビーベッドは水平・平たんな場所に置いてください。
- ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。火災・やけどのおそれがあります。
- ビニール袋・梱包材などは、速やかに廃棄してください。窒息事故等につながるおそれがあります。
- ボルト・ナットなどの組立部品をお子さまの手が届かない場所に保管してください。
お子さまが誤飲するおそれがあります。
- ベッドにひも類等を取り付けしないでください。お子さまに容易に絡まるものは窒息事故につながるおそれがあります。
- 乳幼児用ベッドから保護者が離れる場合は、必ずスライド枠または開閉扉を上側まで閉め、確実にロックされていることを確認してください。
- ベッドの外側および内側には、踏み台の代わりになるような物を置かないでください。
お子さまが柵を乗り越え、落下や転倒によるケガのおそれがあります。
- 乳幼児の頭の大きさが柵と柵の間より小さい場合は、十分に注意して使用してください。
すき間に挟まり、ケガまたは死亡のおそれがあります。
- お子さまがつかまり立ちできるようになったら（概ね出生後5 ヶ月以上）、床板の高さが調整式の乳幼児ベッドは、床板上面から上さんまでの高さが60cm 以上になるように床板を調整してください。
お子さまが柵を乗り越え、落下や転倒によるケガのおそれがあります。
- スプリングマット等 厚みのあるマットを使用する場合は、マットの厚みに応じて床板を下段に取り付けてください。
お子さまが柵を乗り越え、落下や転倒によるケガのおそれがあります。
- キャスターがある場合は、ご使用前に必ずロックされていることを確認してください。
- ご使用前に必ずボルトの緩みや木部のひび割れ、ガタツキ等がないか確認してください。
- 枠と床板のすき間が生じないように、適度な硬さを有するマットレスまたは敷布団等を使用してください。
- 破損、故障等が生じた状態で使用しないでください。
- 何らかの異常を感じた場合は、速やかに弊社までお問い合わせください。
- SG マーク制度は乳幼児用ベッドの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度であり補償制度の対象となるのは、乳幼児用ベッド本体だけであり、マットレス、ふとん等が付いている場合、それらは対象外となります。



注意…人が軽傷および物的損害を負うおそれがあります。

- 必ず保護者の目のとどく範囲で使用してください。
- お子さまを乗せたまま、ベッドを移動させないでください。
- 同時に二人以上で使用しないでください。
- ベッドの上で飛びはねる等、過度な荷重をかけないでください。
- 柱や枠に腰をかけたり、ぶら下がったり、ゆすったりしないでください。ケガや事故、破損のおそれがあります。
- 扉などの開閉部分に手・足・指を挟まないように注意してください。
- フローリングや畳など傷つきやすい床面で使用する場合は、必ずカーペット等の敷物を敷いて使用してください。
床面のキズ・破損につながるおそれがあります。
- 本製品を壁際に置く場合は、必ず壁との間にすき間をあけ、通気のよい状態で使用してください。
変形・変色するおそれがあります。

- 本製品は天然木を使用しています。ご使用環境や状況により木部が変化・劣化するおそれがあります。
- 本製品は一般家庭用であり、業務用ではありません。
- 本製品および付属品を廃棄する場合は、各自治体の指導に従って処理してください。
- 本製品に取り付けられているステッカーを剥がさないでください。安全に使用できなくなるおそれがあります。

組み立てのご注意

- ・必ず保護者が組み立ててください。
- ・組み立て時は、水平な場所にやわらかい布等を敷いてください。本製品や床がキズつくおそれがあります。
- ・組み立て時は、部品の転倒や手足への落下などでケガをしないように注意してください。

⚠ ボルトがナットの穴に入らない場合は一度ボルトを緩めてください。

再びボルトをナットの穴に対してまっすぐに入れて、手でゆっくりと締め直してください。

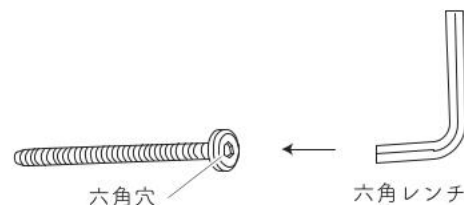
⚠ 無理に締めすぎると、ボルトまたはナットが破損します。

各種金具類の使用方法

六角レンチの使い方

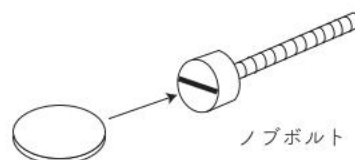
ボルトの六角穴に奥までしっかり差し込み、ボルトに対して垂直に力をかけながら締めてください。

※緩める場合も同様

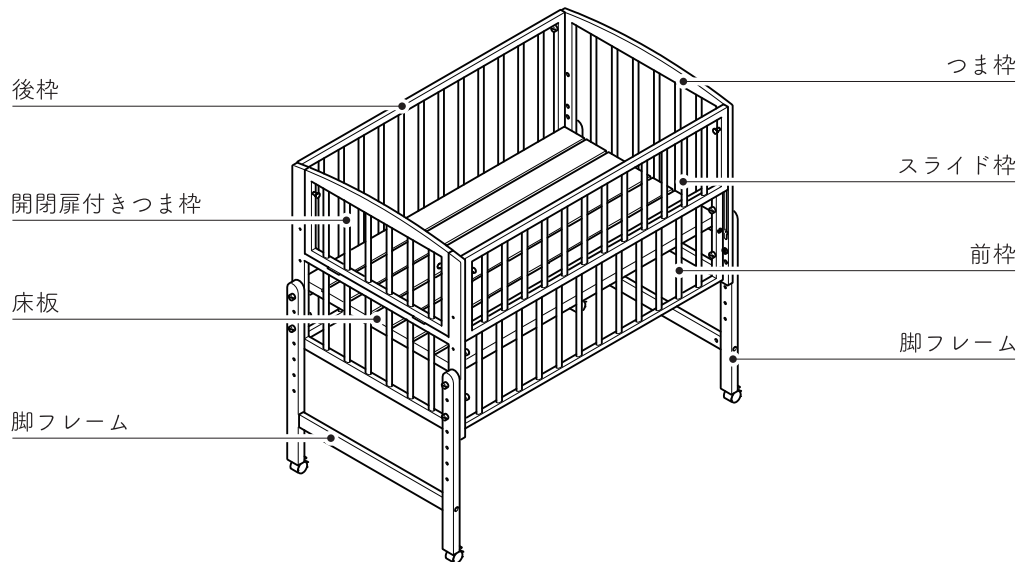


ノブボルトの締め方

まっすぐ入ることを確認してから、手で締めて回せるところまで回し、最後の増し締め時にコインを使用することができます。

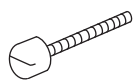
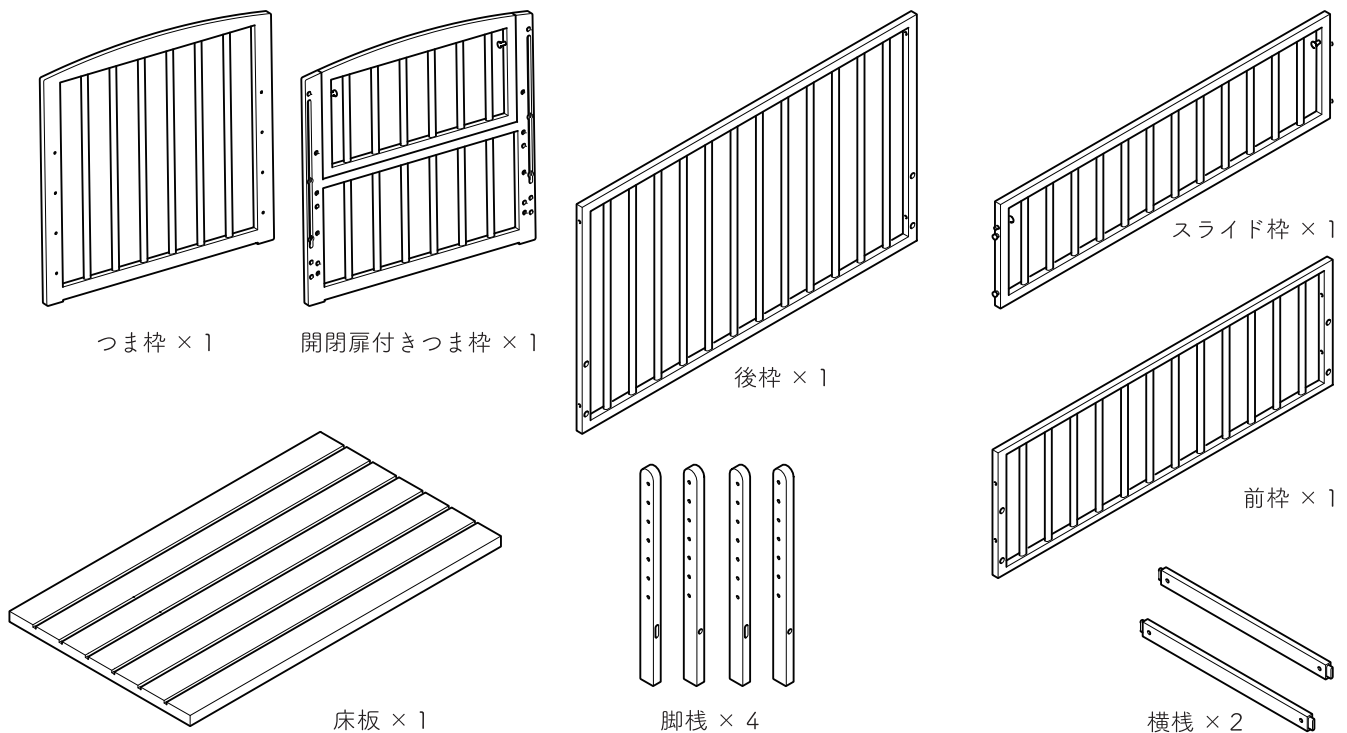


完成図と各部品の名称

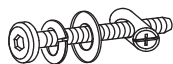


部品表（名称と個数）

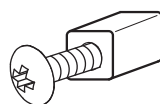
図は簡略化されており、実際の製品と少し異なります。
組み立て前に、部品がすべてそろっているか確認してください。



ノブボルト
× 16



組立ボルト
(丸ナット・ワッシャー・
スプリングワッシャー付)
× 4



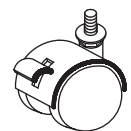
床板受け
ボルト・ナット
× 4



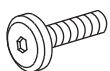
六角レンチ
× 1



スパナ
× 1



キャスター
(ワッシャー付き)
× 4



スライド枠止めボルト
× 2



スライド枠止めワッシャー
× 2

※プラスドライバーはお客様にてご用意ください。
破損・紛失などありましたら弊社までお問い合わせください。
部品販売の対応をしております。(製造年月日により対応できない場合があります)

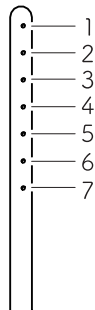
脚フレームと床板の高さ調整

調整したい高さに合わせて、ノブボルトを○の数字とアルファベットの穴に差し込んでください。

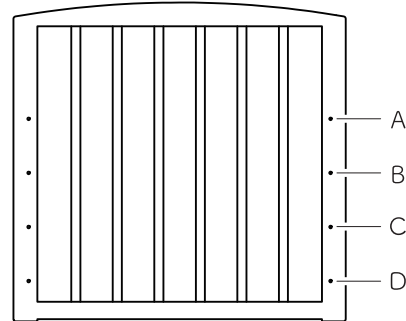


床板の位置は2段階調整できますので、お子さまの成長に合わせて高さを設定してください。
床板の高さ調節については、14 ページの「床板の高さ調整」を参照してください。

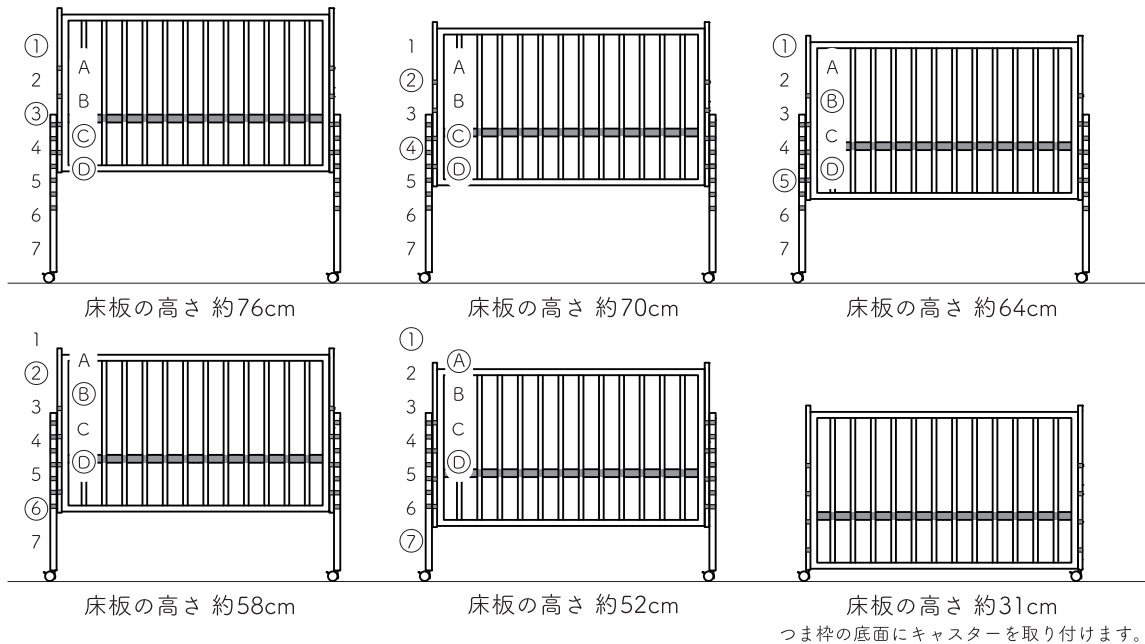
脚枠



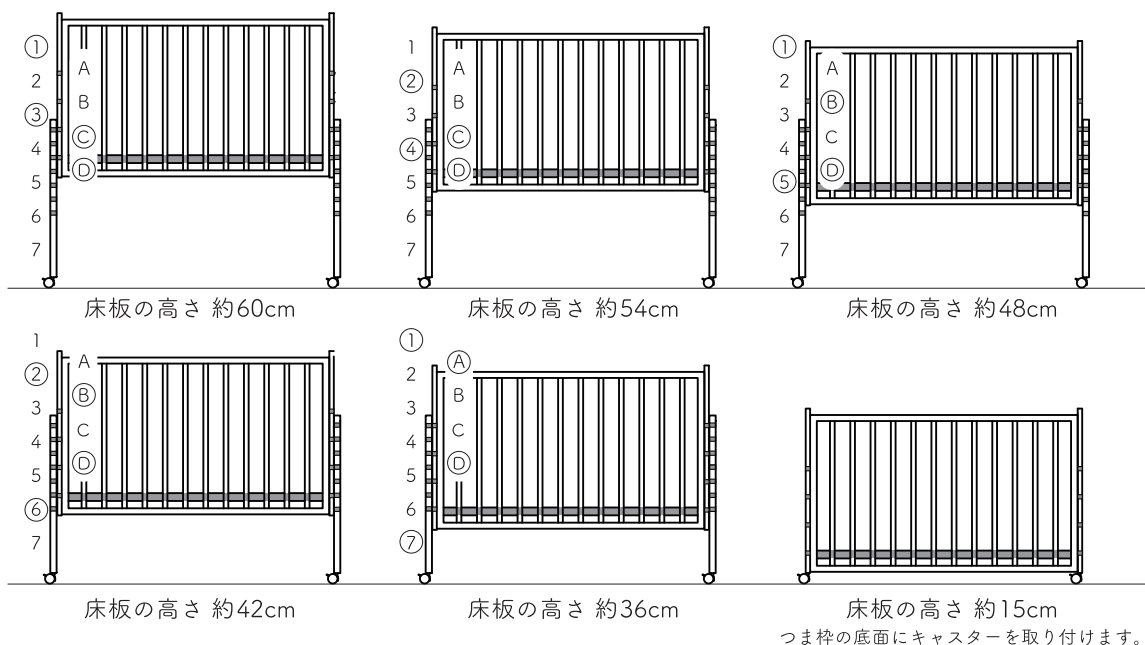
つま枠



床板上段



床板下段



組み立て方

イラストはレギュラーサイズを採用していますが、ミニサイズも同様の手順で組み立てできます。

1. つま枠と後枠を取り付けます。

後枠の内側シールとつま枠のスライド枠溝を内側に配置します。

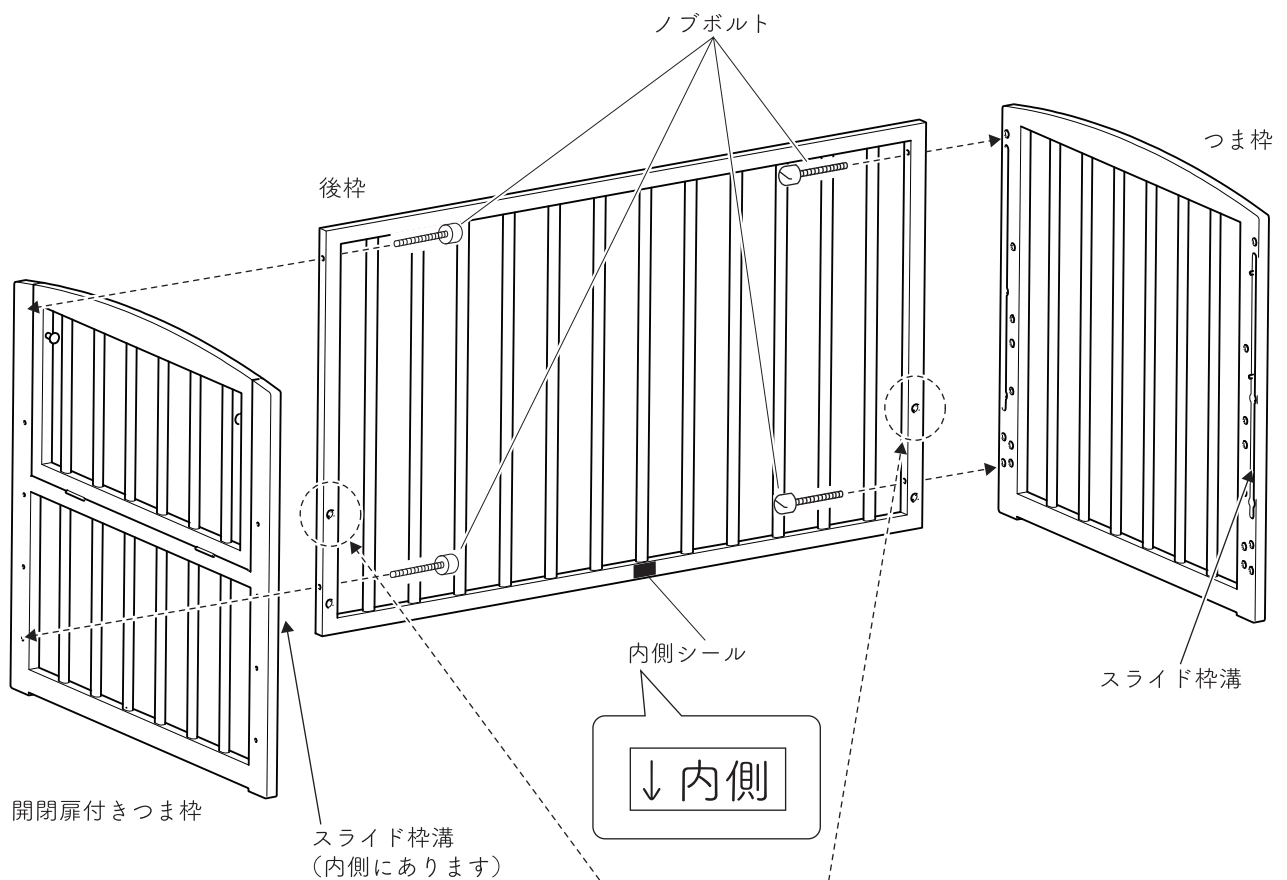
ノブボルトを使って後枠の内側から取り付けてください。



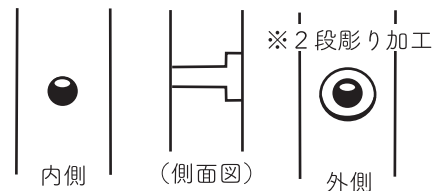
つま枠と開閉扉付つま枠は左右どちらでも取り付けできます。
お部屋のレイアウトに合わせて選択してください。



ノブボルトを締める際に後枠を少し浮かせると、ノブボルトが取り付けやすくなります。



後枠の内側・外側の方向に注意してください。
床板受けボルト穴が2段彫り加工になっている方が外側です。

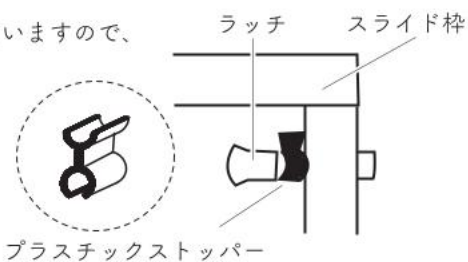


2. スライド枠を取り付けます。

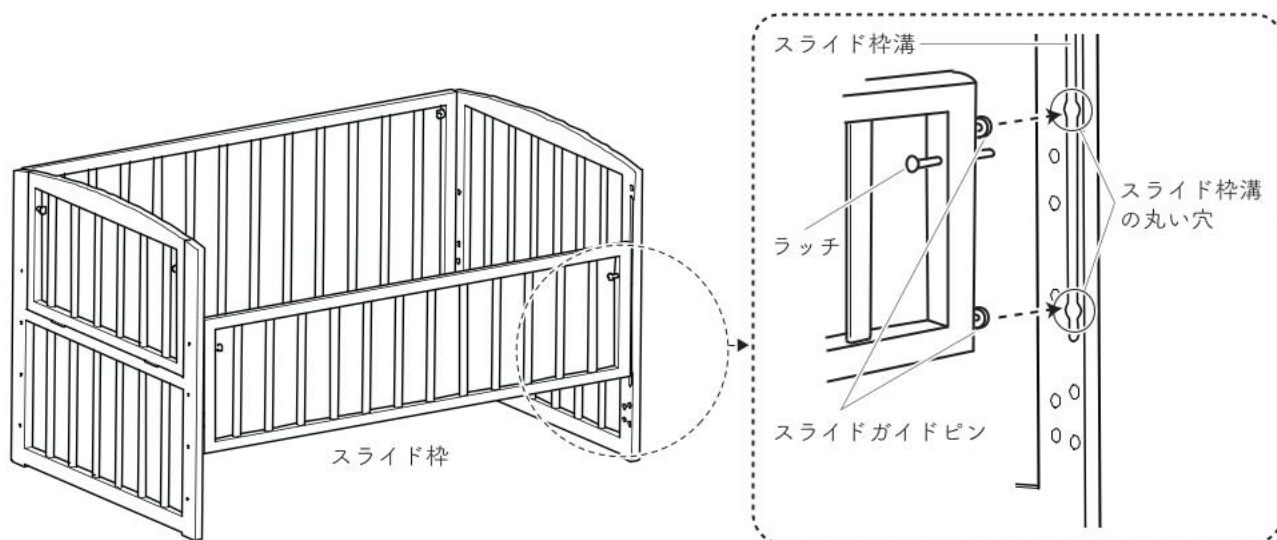
スライド枠のラッチにはプラスチックストッパーが取り付けられていますので、取り外してから使用してください。



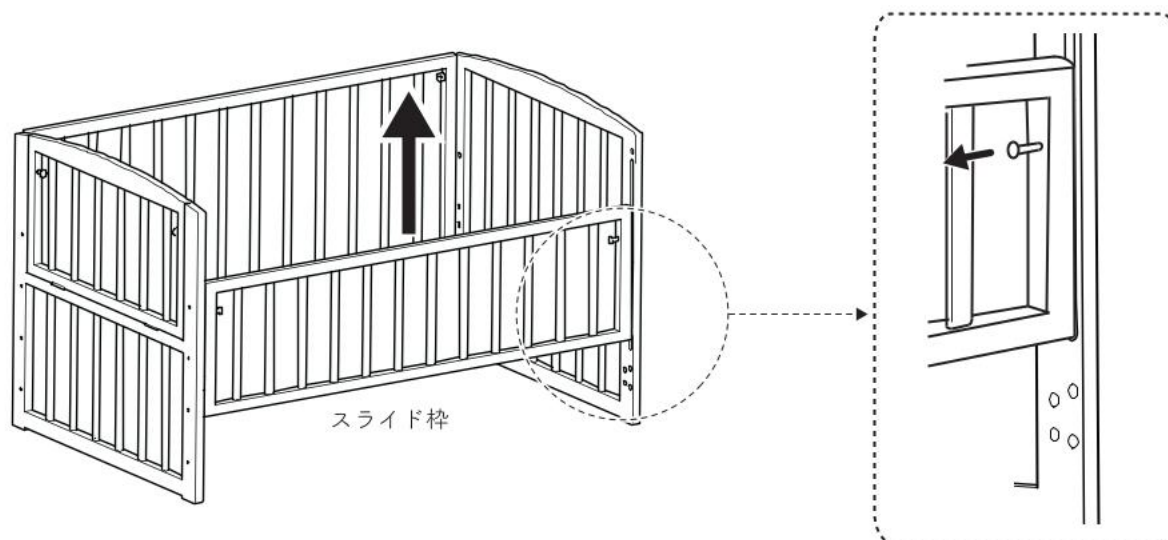
プラスチックストッパーを取り外した後は、お子さまが誤飲しないように速やかに廃棄してください。



スライド枠のスライドガイドピンをつま枠のスライド枠溝の丸い穴に差し込んでください。



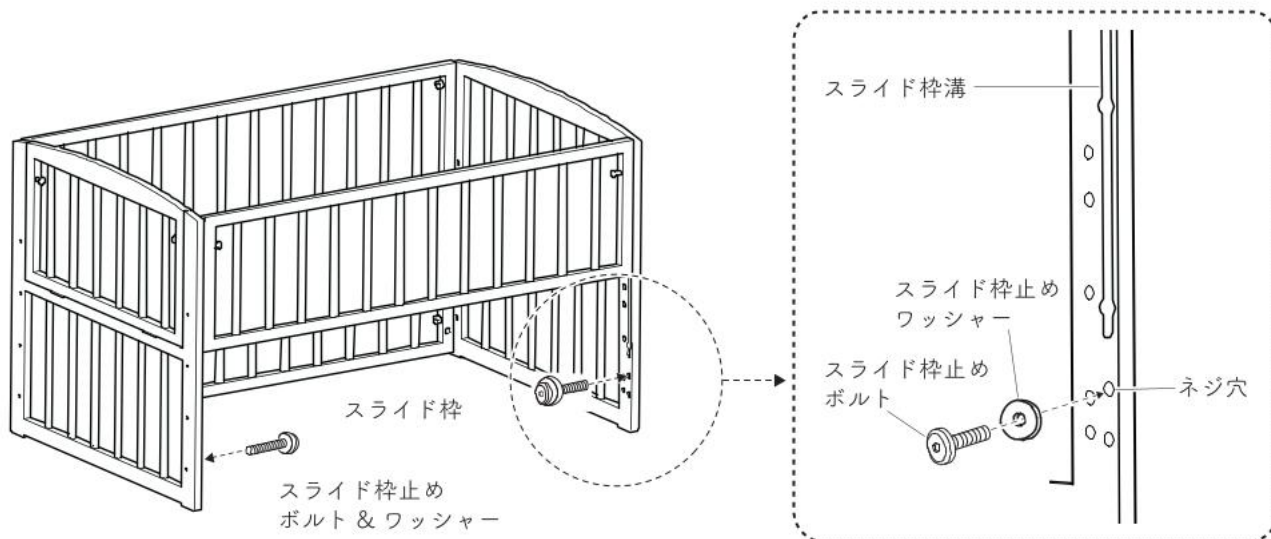
スライド枠のラッチを内側にひっぱりながら、スライド枠を上側にスライドさせてください。
上側へのスライド後、ラッチで必ずロックしてください。



必ずスライド枠を左右平行に保ったまま上側にスライドさせてください。
スライド枠のスライドガイドピンがつま枠のスライド枠溝の丸い穴に正しく差し込まれていない場合やスライド枠が斜めに傾いた状態で無理に動かすと、スライド枠溝が割れるおそれがあります。

3. スライド枠止めワッシャーを取り付けます。

スライド枠止めボルトを使って、つま枠のスライド枠溝の真下にあるネジ穴にスライド枠止めワッシャーを取り付けてください。



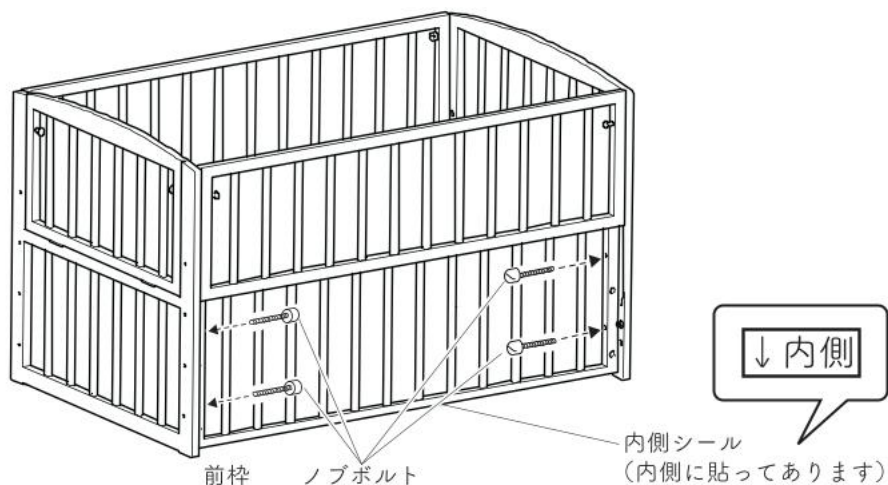
ボルトがネジ穴に入らない場合は一度ボルトを緩めてください。
再びボルトをネジ穴に対してまっすぐに入れて、手でゆっくりと締め直してください。

4. 前枠を取り付けます。

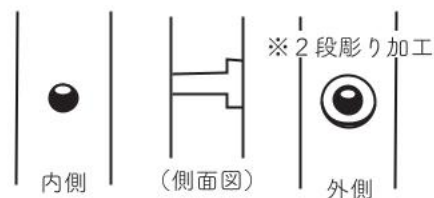
前枠の内側シールを内側に配置します。
ノブボルトを使ってスライド枠の内側から取り付けてください。



ノブボルトを締める際に前枠を少し浮かせると、ノブボルトが取り付けやすくなります。



前枠の内側・外側の方向に注意してください。
床板受けボルト穴が2段彫り加工になっている方が外側です。

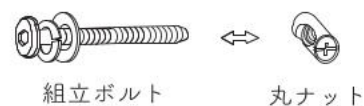


5. 脚フレームを2セット組み立てます。

脚フレームを使用しない場合は手順6.に進んでください。

組立ボルト・丸ナットの使い方

組立ボルトから丸ナットを取り外してから使用してください。



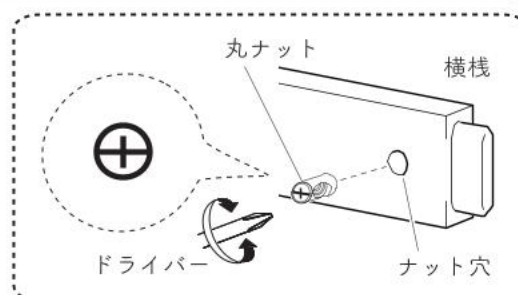
(1) 丸ナットを横棧のナット穴に差し込んでください。

丸ナットのプラスの長い溝を下図の方向にしてください。

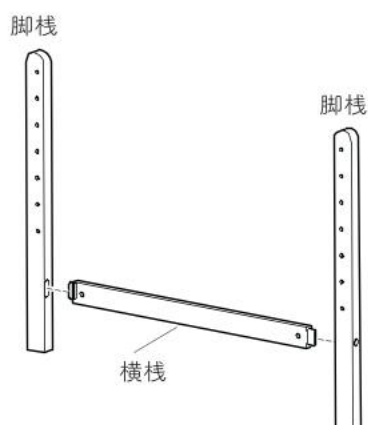


丸ナットの向きはプラスドライバーを使うと調整しやすくなります。

※プラスドライバーはお客様にてご用意ください。



(2) 横棧を脚棧のホゾ穴に差し込んでください。

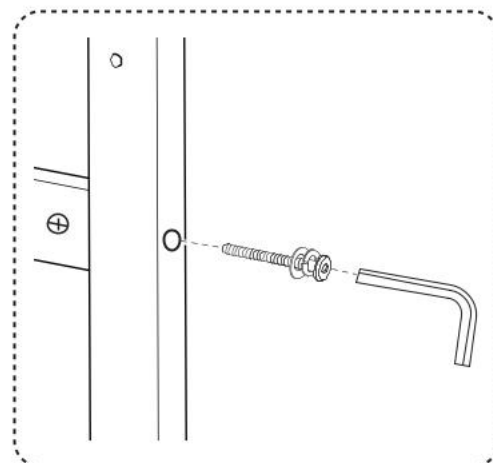
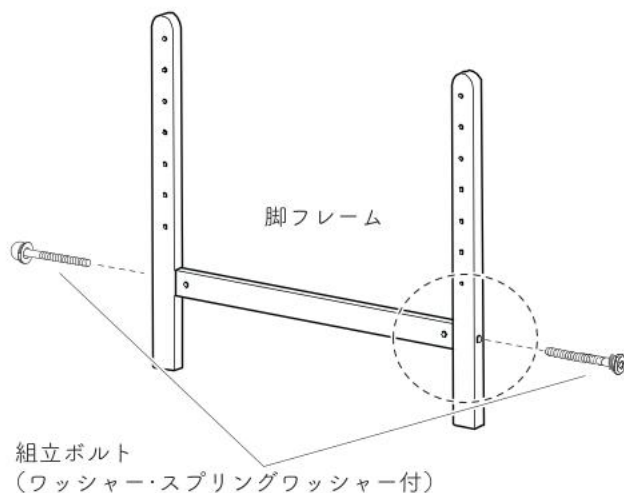


(3) 組立ボルトを使って横棧と脚棧を取り付けてください。



組立ボルトを奥まで入れ、次に六角レンチの長い柄で締めてください。

最後に六角レンチの短い柄で締めつけてください。



6. キャスターを取り付けます。

キャスターを脚棧の下側に差し込み、手で締めてください。

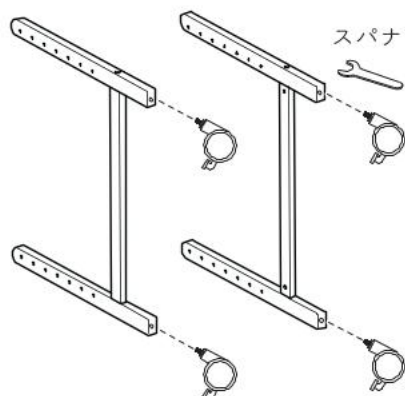
木部にキャスターの根元が接したら、スパナで軽く締め付けてください。

脚フレームを使用しない場合はキャスターを直接本体に取り付けてください。

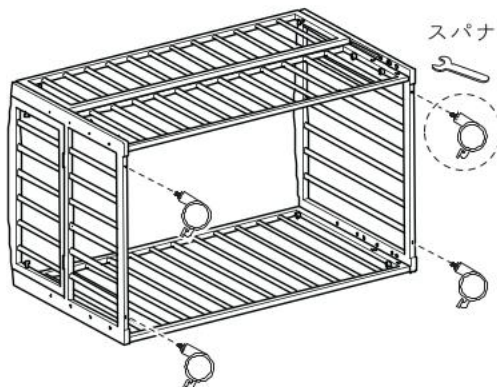


締めすぎると木部が破損するおそれがありますので注意してください。

脚フレームを使用する場合



脚フレームを使用しない場合



キャスターをうまく取り付けられない場合



point

ワッシャーをキャスターの根元に押し込んでください。



point

キャスターの根元を回してください。

7. 本体を横に倒し、脚フレームを取り付けます。

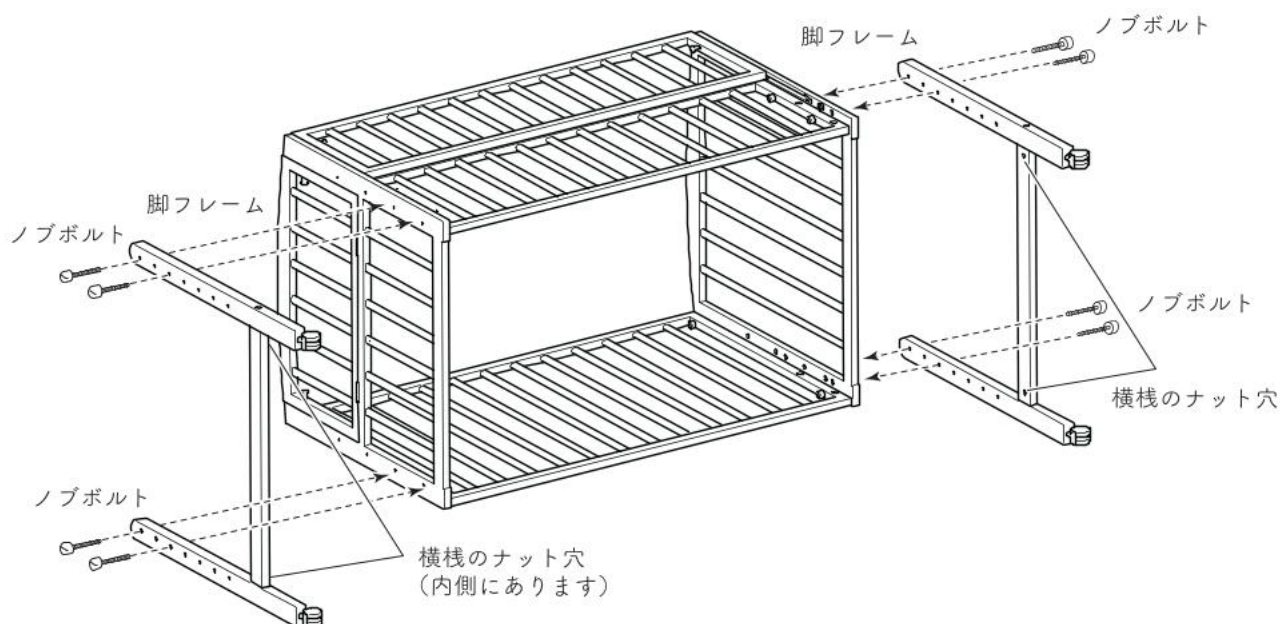
脚フレームを使用しない場合は手順 8. に進んでください。

脚フレームを横棧のナット穴を内側に配置します。ノブボルトを使って好みの高さの位置に取り付けてください。



脚フレームの位置は 5 段階調整できます。

脚フレームの高さ調節については、5 ページの「脚フレームの高さ調整」を参照してください。



8. 床板受けボルト・ナットを取り付けます。

床板受けボルト・ナットの使い方

床板受けボルトから床板受けナットを取り外してから使用してください。



床板受けナットと床板受けボルトを前枠と後枠に取り付けてください。

床板受けナットの平面を水平に保ったまま床板受けボルトを締めてください。



ナットの差し込み口にご注意ください。

誤った方向で差し込むと床板が落下するおそれがあります。



締めすぎるとナットが破損するおそれがありますので注意してください。

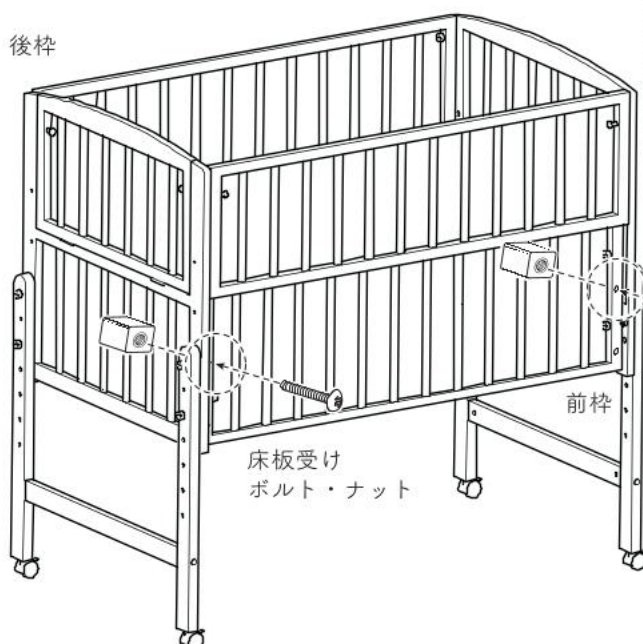
床板受けナット差し込み口



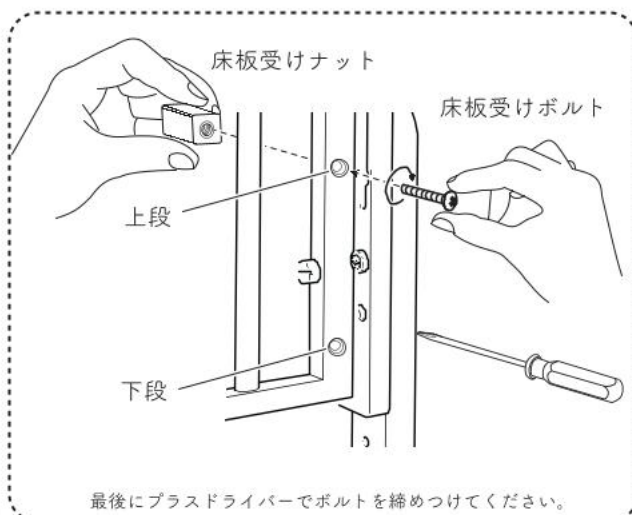
床板の位置は2段階調整できますので、お子さまの成長に合わせて高さを設定してください。

床板の高さについては、5ページの「脚フレームの高さ調整」を参照してください。

後枠



床板受け
ボルト・ナット



床板受け
ボルト・ナット



お子さまがつかまり立ち出来るようになったら（概ね出生後5ヶ月以上）、床板を下段に取り付けてください。落下や転落によるケガのおそれがあります。

床板の高さ調節については、14ページの「床板の高さ調整」を参照してください。



スプリングマット等を使う場合は、スプリングマットの厚みに応じて、床板を下段に取り付けてください。落下や転落によるケガのおそれがあります。

9. 床板を乗せます。

床板を床板受けナットに乗せて完成です。

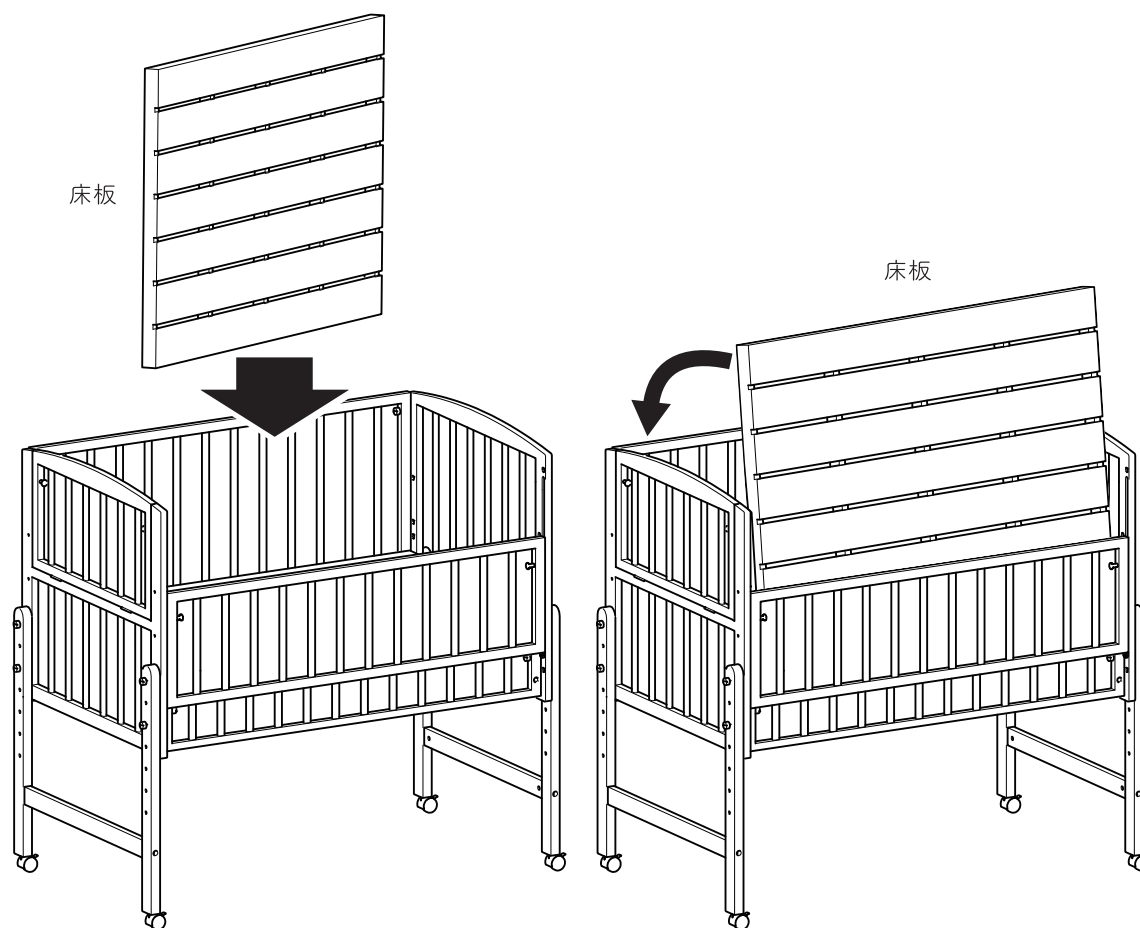


スライド枠を下側にスライドさせてから行くと乗せやすくなります。



床板の長面を下に向けて床板を枠内に入れ、手前の床板受けナットに乗せます。

床板を反対側の枠にある床板受けナットに乗せます。



完成図



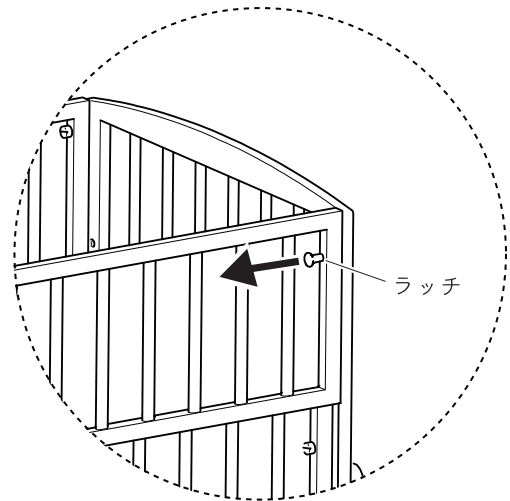
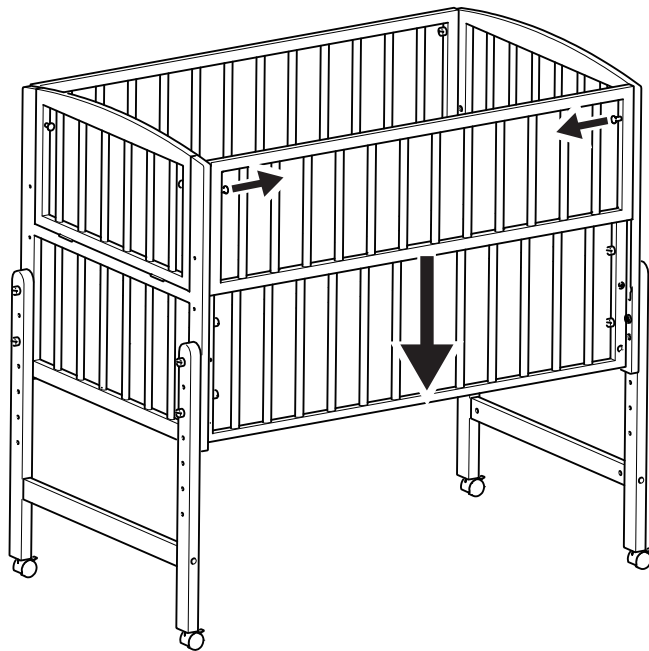
スライド枠の開閉

スライド枠を下側にスライドさせます。

スライド枠のラッチを内側にひっぱりながら、スライド枠を下側にスライドさせてください。

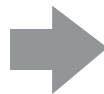
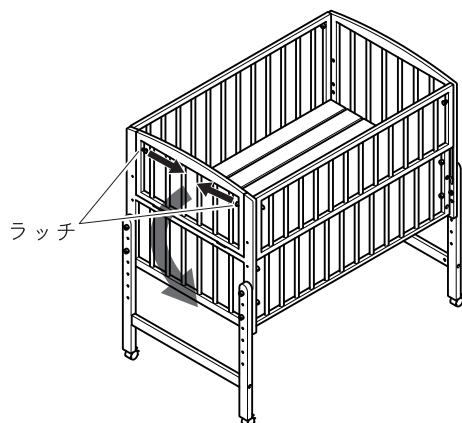


ご使用後は、スライド枠を必ず上側の所定の位置に戻し、ラッチがロックされていることを確認してください。

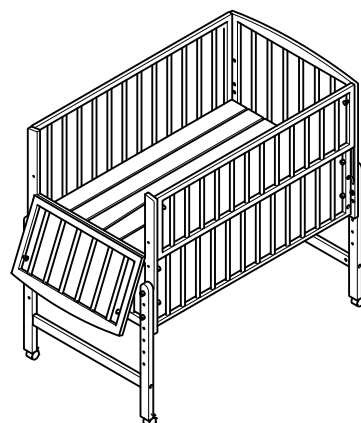


開閉扉付きつま枠 開閉扉の開け方

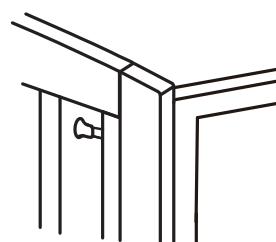
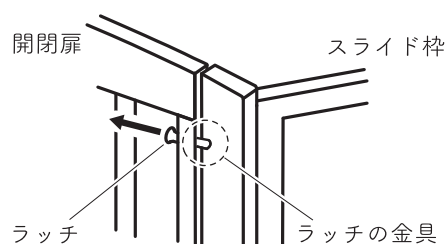
ラッチを内側にひっぱりながら、開閉扉を手前に倒します。



開閉扉



扉を閉める際は開閉扉付きつま枠にあるラッチを内側にひっぱり、左右の柱にラッチの金具があたらないよう扉を閉めて、ロックしてください。



床板の高さ調整

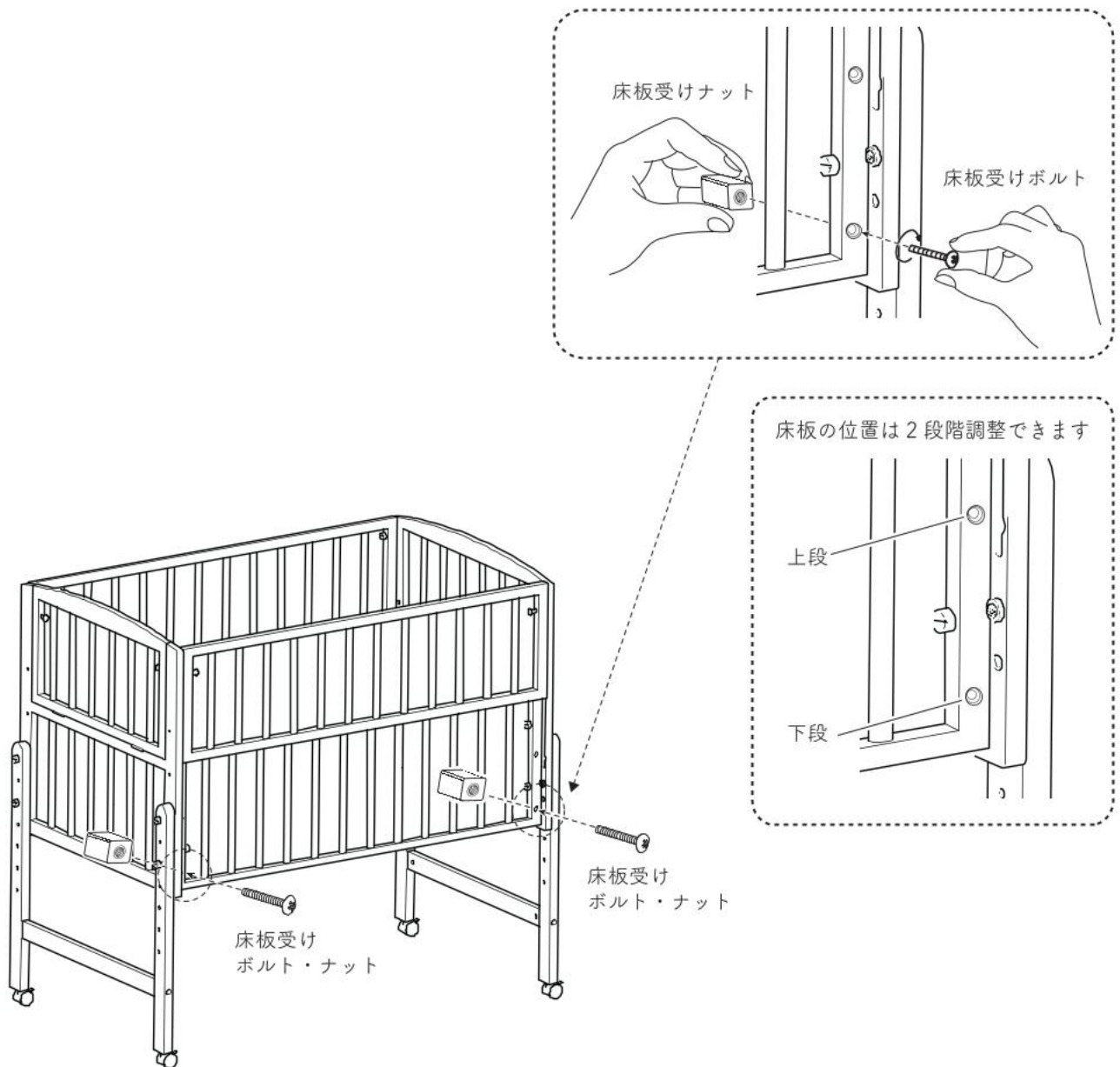
床板受けボルト・ナットの位置を変更します。

床板と床板受けボルト・ナットを取り外してください。

床板受けボルト・ナットを変更したい段に取り付け、床板を乗せてください。



床板受けボルト・ナットの取り付けについては、11 ページの「組み立て方」手順 8. を参照してください。
床板の乗せ方については、12 ページの「組み立て方」手順 9. を参照してください。



お子さまがつかまり立ち出来るようになったら（概ね出生後5ヶ月以上）、床板を下段に取り付けてください。落下や転落によるケガのおそれがあります。



スプリングマット等を使う場合は、スプリングマットの厚みに応じて、床板を下段に取り付けてください。落下や転落によるケガのおそれがあります。

使用上の注意

- ⚠ 床板の上に敷くマットや敷布団は、頻繁に干してください。
干さずにそのままお使いになると、床板等にカビが発生するおそれがあります。
- ⚠ 塩化ビニール製（PVC）のボールや玩具は、長時間接触させないでください。塗装を溶かすおそれがあります。
- ・ 保護者の方が腰をかけたり、過度な荷重をかけたりしないでください。故障のおそれがあります。
 - ・ 本製品は天然木を使用しています。極端な寒暖差や過度の乾燥・湿気により変形・変色するおそれがあります。
 - ・ 本製品を壁際に置く場合は、必ず壁との間にすき間をあけ、通気のよい状態で使用してください。
 - ・ 直射日光や冷暖房の風が直接あたる場所に置かないでください。変形・変色するおそれがあります。
 - ・ 定期的にネジの緩みや各部に異常がないか確認してください。各部に異常が見つかった場合は、そのまま使用せず、適切な処置を施してください。ネジが緩んでいる場合は必ず増し締めしてください。
 - ・ 必ず保護者の目の届く範囲でご使用してください。使用後は、開閉扉を必ず所定の位置に戻し、ラッチがロックされていることを確認してください。
 - ・ 本製品を移動する際は、キャスターのロックを解除してください。ロックを解除しないと、木部や床の破損・事故につながるおそれがあります。
 - ・ 箱の開封時、においがこもっている場合は、直射日光のあたらない、風通しのよい場所にしばらく置いてください。それでもまだ残るにおいは、木本来のにおいのため、身体に害はありません。



PS・SG マークつきベビーベッドの特徴

★ SG マークが表示されているベビーベッドは、次のような特徴を備えています。

- 1 SG マークが記載されているベビーベッドは主として、家庭において出生後 24 ヶ月以内の乳幼児の睡眠又は保育に使用することを目的として設計されたものです。ただし、揺動型のもはふくまれていません。またマットレスふとん等は対象外となっています。
- 2 SG マークが表示されているベビーベッドの種類は、大別すると、「サークル兼用もの」と「ベッド専用のもの」の二つに分けられます。
- 3 サークル兼用のもの以外は、床板の上面より 30cm の高さまでの範囲には幼児が足をかけるような構造物は、いっさいついていません。
- 4 組子（さん）間や組子と支柱間の間隔は、乳幼児の頭が入らないような構造（8.5cm 以下）になっています。
- 5 床板の上面から上さんまでの高さは、60cm（サークル兼用のものは 35cm）以上になっています。
- 6 床板は、使用時に容易にはずれないようしっかりとした構造になっています。
- 7 床板、前枠及び後枠、組子等は、所定の強度を保持しており、乳幼児がベッドの上であばれたり、保護者が枠により掛かって、十分に耐えられる様になっていますが、保護者は床板に腰かけないで下さい。
- 8 合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品等を使用しているものについては、食品衛生法や有害物資を含有する家庭用品の規制に関する法律等による規制基準を参考として、その安全性が確認されています。



商品名：ノモック プラス Wオープンハイタイプベビーベッド ノモック プラス Wオープンハイタイプミニベビーベッド

寸法：ノモック プラス Wオープンハイタイプベビーベッド
約 幅 132×奥行 77×高さ 123.5cm
（床板サイズ：約 幅 120×奥行 70cm）
ノモック プラス Wオープンハイタイプミニベビーベッド
約 幅 102×奥行 67×高さ 123.5cm
（床板サイズ：約 幅 90×奥行 60cm）

床板高さ：約 76、70、64、60、58、54、
52、48、42、36、31、15cm 12段階調整
構造部材：パイン材
塗装：水性塗装
生産国：中国
製造元：株式会社 大和屋



保証書

保証期間はご購入日から1年です。

保証規定

1. 保証期間内に於いて、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、保障規定に基づき無償対応しますので、ご購入店または弊社へ製品と本保証書をご提示の上、お申し付け下さい。
2. ご購入の製品が、お客様または第三者による不適切なご使用、お取り扱いにより、故障・破損・事故その他不具合が生じた場合、弊社はその責任を負いかねます。
3. 保証期間内に於いても、次の場合には原則、有償、又はお受けできない場合があります。
 - (1) 開封後のお客様都合による御交換
 - (2) ご購入もしくは商品受領後、1週間を過ぎた内容物の不足
 - (3) 組み立て中における破損
 - (4) 製品本体に取り付けられ
 - (5) 天然木による自然変色・
 - (6) 木目や材の性質などによ
 - (7) ご使用後の木部以外の消耗品/付属品（クッション・マット類、付属チェアベルト、組立て部品等）に交換を要する場合
 - (8) アウトレット・リサイクルショップ等でのご購入、第三者からの譲渡品など、いわゆる新品ではない中古品の場合
 - (9) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (10) 火災、地震、水害、落雷その他天災による故障及び損傷
 - (11) 一般家庭以外で、業務用などに使用した場合
 - (12) 商品に瑕疵がなく、通常使用により発生した床や壁などの周辺物への直接の傷、間接の傷、汚損など
 - (13) 無償対象外にて、発生する宅配便などの諸経費
 - (14) 製造中止後、必要部品の在庫が無くなった、或いは部品供給期間が過ぎた場合
 - (15) 本保証書の紛失、又はご購入年月日、お客様氏名等が未記入、或いは改ざんされている場合

無効

※本書は再発行は致しませんので大切に保管して下さい。（日本国内のみ有効）

	お名前
	TEL
ご住所 〒	
購入店（店名・住所・電話番号）	お買い上げ伝票または領収書添付欄

※必ずお読み頂き、必要事項をご記入後、お買い上げ伝票又は領収書を添付の上、大切に保管して下さい。
※品質向上の為、予告なしに一部仕様変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。
※ご返品・ご返金につきましては、ご購入先にお問い合わせ下さい。



株式会社 大和屋
愛知県安城市三河安城本町2丁目8番地4
TEL 0566-72-7771
FAX 0566-72-7777
☎FREE 0120-27-8108(平日9～17時)

www.yamatoya-jp.com

お問い合わせ：

service@yamatoya-jp.com

お問合せは右のQRコードからも可能です。



20260528